

「本日改めて『赤旗』の来ない日の寂しさ！そして私の所に届くまでの多くの同志たちの努力を知り、それがどんなに大変なのか改めて考えました。『赤旗』は勇気を奮い立たせてくれる根源です」（埼玉県の医師女性）

「勇気の源、草の根の支え

対応をとってほしい」（東京・八王子市の読者）

11月28日に発生したあかつき印刷東京工場の印刷トラブルによる一部地域の配達の大幅遅れ。この重大事故に対して、きびしい批判とともに、輸送・配達にかかわる関係者への思いやりとねぎらい声が寄せられました。



あかつき印刷（株）の新しい輪転機

それは、「赤旗」の存在の大きさ、期待の大きさの裏返しともいえます。

編集、印刷、輸送・配達…新聞づくりは様々な工程があり、どれ一つ欠けても新聞製作は成り立ちません。その一つ一つの工程にかかわるすべての人々が、「いい新聞をつくらう」「確実に読者に届けよう」という共通

の思いで支えているのが「赤旗」の特徴です。

印刷はすべて自前で札幌、岩手・北上、東京、愛知・小牧、大阪、福岡の6工場で印刷し、約250のコースに分かれて全国の出張所に輸送します。

安全で確実な輸送をと、全国で六つ（東北、東京、中部、大阪、中四国、九州）の「赤旗」輸送協力会が組織され、学習や交流を重ねています。

配達・集金を支えているのは党员など12万人近いボランティアです。

「生きる糧」「勇気の根源」となっている「赤旗」は、こうした草の根の支えがあって初めて成り立っているのです。

（おわり）